



## 2021年度愛媛県当初予算案の主な事業

愛媛県議会第373回定例会では、当初予算をはじめ、条例、人事、規則等の県政重要案件について審議いたしました。近年で最大規模となった一般会計の総額は6948億円で、そのうち新型コロナウイルス感染症対応が640億円と全体の約1割を占めました。

関東の1都3県で延長されていた緊急事態宣言も解除され、桜の季節ということも重なり、息抜きを求めて多くの人々が繁華街や観光地へ外出している姿を見かけますが、陽性者が急増するリバウンドだけは避けたいものです。

コロナ禍や災害の影響で県財政は厳しさを増しています。今後の税収減も避けられず、不足分を補うために財源対策用基金を取り崩さなければなりません。非常時とは言え、財政健全化への努力が必要であり、限られた予算の中で県民のニーズにどれだけ応えられるかが課題であります。また県民の皆さまが最も関心を寄せているワクチン接種につきましては、国に対して丁寧な説明と速やかな情報提供を強く求めるとともに、円滑な接種に努めて参ります。

きくち伸英は、愛する愛媛のために引き続き議会活動に邁進いたしますので、県政に関するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

菊池伸英

- 新型コロナ対策の強化
- 西日本豪雨災害からの創造的復興
- デジタル技術を駆使した施策展開
- 農林水産業の振興
- 地域経済の立て直し
- 人口減少対策
- 教育の充実